

(3) プログラム全体の構成

このプログラム全体の構成を簡単な図で表すと、次のようになります。

寄って、話して、自ら気づく 「親の力」をまなびあう学習プログラム

自分の親について考えてみよう！

親になるって、命を預かるってことなんだね！

おとうさんですよー

これから親になる人

【自分の親は将来の自分】期

- 中学・高校生などの青少年対象
＜親はウルサイけどアリガトウ＞編
- まもなく親になる人対象
＜自分が親になるなんて＞編

親になるってどんな感じ？



勉強ついていけないのかしら…

カラダもココロも変化しているのね！

子育て真っ最中の人

子育て前期【過ぎてしまえば一番幸せ】期

- 0～2歳児の親対象
＜ヘトヘトでもニコリ＞編
- 3～6歳児の親対象
＜クタクタでもワッハッハ＞編
- 小学1～3年生の親対象
＜ワクワク・ドキドキ＞編

子育て後期【親子で上る自立の坂道】期

- 小学4～6年生の親対象
＜子が親離れしていく＞編
- 中学・高校生の親対象
＜親が子離れできない＞編

自分の時間もほしいよー！

早くしなさい！って、つつい怒っちゃうのよね…

父さーん、出番だよ！

子育てを応援したい人

【再び子育て、そして親育て】期

- 中高年などの子育て支援者対象
＜「いまどきの親は」なんて言わない＞編

今の親も大変なんだね！何か私にもできないかしら…



イラスト：うじな かずひこ



1 プログラム全体の名前とねらい

「親の力」をまなびあう学習プログラム～寄って、話して、自ら気づく～

(ねらい：自他の子育てを振り返り学び合うなかで、親が「自ら気づき」「自らまなべる」力を高める。)

※ 「親の力」とは、「子どもに対して第一義的責任を果たす力と社会の一員として子どもを育成する力が一体となった“子育て力”＝人を育てようとする人なら誰もが持っているであろう“親心”から発せられる力」のことです。(本書「巻頭言」より)

「寄って、話す」という参加型学習で「まなびあう」ことによって、自らが本来持っている「親の力」に「自ら気づき」さらに伸ばしてほしい、という願いを込めて、この名前にしました。

2 各段階の名前とねらい

まず、学習者を大きく4つの段階(A～D)に分けました。

A 「自分の親は将来の自分」期(子育て準備期)

まだ親になっていない人たちです。

(ねらい：自分の親子関係を振り返ったり、親となる自分を想像することで、これからの自分の生き方を考える。)

B 「過ぎてしまえば一番幸せ」期(子育て前期)

子育て真っ最中の親で、子どもが小学3年生までの人たちです。

(ねらい：子どもがいる生活を受け入れるとともに、子どもの成育の過程を余裕を持って楽しみ、子どもをしっかりと受けとめる。)

C 「親子で登る自立の坂道」期(子育て後期)

子育て真っ最中の親で、子どもが中学・高校生など青少年の人たちです。

(ねらい：子どもの成長を見守り、受け入れるなかで、親も共に成長しようとする姿勢を持つ。)

D 「再び子育て、そして親育て」期(子育て支援期)

既に子育てを終えた中高年などの人で、若い親たちの子育てを支援しようという人たちです。

(ねらい：自分の体験をもとに若い親たちを支援しつつ、共に学ぶ意欲を持つ。)

3 学習対象者ごとのプログラム名とねらい

次に、4つの段階を細分化し、8つの学習対象者層(①～⑧)を設定しました。

A 「自分の親は将来の自分」期(子育て準備期)

①「親はウルサイけどアリガトウ」編(中学・高校生などの青少年対象)

(ねらい：親の立場を想像し、これまでの自分を振り返ることで、これから親となるであろう自分の生き方を考える。)

②「自分が親になるなんて」編(まもなく親になる人対象)

(ねらい：生まれてくる命を育む責任を自覚し、パートナーと共に出産・育児を迎える自覚を

深める。)

B 「過ぎてしまえば一番幸せ」期（子育て前期）

③「ヘトヘトでもニッコリ」編（0～2歳児の親対象）

（ねらい：命を守る責任を自覚し、育児書などマニュアルにしばられない自分らしい子育てをすることに自信を持つ。）

④「クタクタでもワッハッハ」編（3～6歳児の親対象）

（ねらい：子どもの体と心の育ちにとって必要な要素を考えるとともに、今の子育ての状況を楽しめるような心の余裕を持つ。）

⑤「ワクワク・ドキドキ」編（小学1～3年生の親対象）

（ねらい：子どもを多様な価値観で受けとめ、自ら伸びようとする芽を見つけて、成長を支援する。）

C 「親子で登る自立の坂道」期（子育て後期）

⑥「子が親離れしていく」編（小学4～6年生の親対象）

（ねらい：子どもの心身の変化を理解し、子どもの主体性を伸ばす親のあり方について考える。）

⑦「親が子離れできない」編（中学・高校生などの青少年の親）

（ねらい：子どもが自立しようとすることを受け入れ、支援するとともに、親自身の子離れについて考える。）

D 「再び子育て、そして親育て」期（子育て支援期）

⑧『「いまどきの親は」なんて言わない』編（中高年などの子育て支援者対象）

（ねらい：現代の子育て環境の状況を学びつつ、若い親の子育てを支援する。）

4 ワークシート（教材）ごとの名前とねらい

さらに、それぞれの対象者ごとに、3つずつワークシート（教材）を用意しました。（その1～3）

A 「自分の親は将来の自分」期（子育て準備期）

①「親はウルサイけどアリガトウ」編（中学・高校生などの青少年対象）

その1：おぎゃーってスゴイ！～生まれてきた自分、やがて生まれてくる命～

（ねらい：卵を自分の子どもに見立て、命の大切さと、親として命に関わることの責任の重さを実感する。）

その2：親しらず 子しらず～親子関係を振り返る～

（ねらい：自分の親子関係を振り返り、親の役割や気持ちについて考える。）

その3：おや！ おや？～自分のあゆみと親の関わり～

（ねらい：「自分史」を作るなかで親との関係を振り返り、将来どんな親になりたいかを考える。）

②「自分が親になるなんて」編（まもなく親になる人対象）

その1：親になるって！？～命を授かる責任と喜び～

（ねらい：子どものいる生活を想像し，親になる心構えを持つ。）

その2：妊娠期のカラダとココロ～パートナーの理解と協力～

（ねらい：妊娠期の女性の体と心の変化を理解し，男女の相互理解と支え合いの大切さを考える。）

その3：オギャーからタッチまで～思い描こう，赤ちゃんのいる生活～

（ねらい：現在の生活と出産後の生活例を比較し，出産後の自分たちの生活について考える。）

B 「過ぎてしまえば一番幸せ」期（子育て前期）

③「ヘトヘトでもニッコリ」編（0～2歳児の親対象）

その1：私の時間，子どもの時間～つくってますか？ 心のゆとり～

（ねらい：多忙な育児のなかで心にゆとりを持てるよう，上手な時間の使い方について考える。）

その2：あの人って…～「私と周り」の人間関係を振り返る～

（ねらい：自分と周囲の人間との関係を良好にすることについて考える。）

その3：ワイワイ，キャーキャー！～「子どもと遊び」について考える～

（ねらい：情報や意見を交流し，子どもを豊かに育む遊びについて考える。）

④「クタクタでもワッハッハ」編（3～6歳児の親対象）

その1：買って買って！～さあ困った！あなたなら？～

（ねらい：子どもの気持ちを受けとめる親の役割の大きさについて考える。）

その2：〇〇ちゃんがするっ！！～自我の芽生えと親の思い～

（ねらい：子どもの思いに寄り添い，自主性を伸ばすために，親がどう支援すれば良いかを考える。）

その3：もうすぐ小学生！～これまでの子育てを振り返る～

（ねらい：これまでの子育てを振り返り，これからの育て方を考える。）

⑤「ワクワク・ドキドキ」編（小学1～3年生の親対象）

その1：ワクワクとドキドキと～期待と不安の中味とは？～

（ねらい：親が抱いている子どもへの期待と不安を振り返り，子ども自身をみつめることの大切さに気づく。）

その2：くらべないで！～比べられる価値と比べられない価値～

（ねらい：他の子どもと比べることの功罪を考え，自分の子が持つかけがえのない価値を再認識する。）

その3：みなおして！～多様な視点から子どもを見る～

（ねらい：多様な視点から見ることにより，心に余裕が生まれることに気づく。）

C 「親子で登る自立の坂道」期（子育て後期）

⑥「子が親離れしていく」編（小学4～6年生の親対象）

その1：体と心の変化～子どもの思い，親の戸惑い～

（ねらい：子どもの成長に戸惑う自分自身をみつめなおし，自立しようとする子どもの気持ちを理解し支えることについて考える。）

その2：もしかしてイジメ！？～誰でもその可能性があります～

（ねらい：いじめにつながるストレス要因について意見交換し，家庭の役割について考える。）

その3：さあ，どっち！？～信じる，見守る，待つ，聞く～

（ねらい：反抗期等多感な時期の子どもとの接し方から，親子のより良いコミュニケーションの取り方について考える。）

⑦「親が子離れできない」編（中学・高校生などの青少年の親）

その1：思い出してみても…～私にもあった青春時代～

（ねらい：自分の青春時代を思い出し，子どもの思いに寄り添いつつ言葉を届ける術を考える。）

その2：キャッチボールは得意ですか？～気持ちをつたえる 胸の真ん中でうけとめる～

（ねらい：進路選択を巡る親子のロールプレイをとおして，子どもと気持ちを通じ合うことの難しさと大切さを学ぶ。）

その3：ほどよい距離感って？～子どもの自立と親の自立～

（ねらい：子どもの自立を適切に支援できるような，親の接し方について考える。）

D 「再び子育て，そして親育て」期（子育て支援期）

⑧『「いまどきの親は」なんて言わない』編（中高年などの子育て支援者対象）

その1：よりそってみても…～子育て環境の変化を知る～

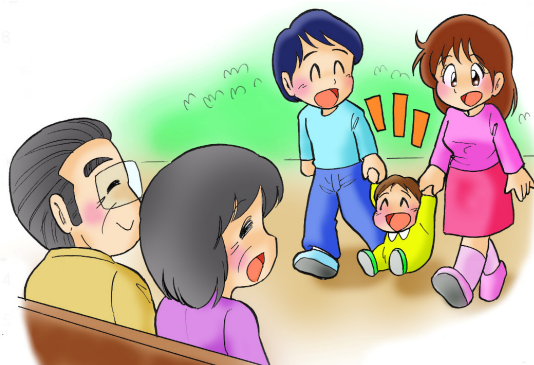
（ねらい：子育て環境の時代変化を知り，現代における子育て支援について考える。）

その2：たちどまってみても…～こんな場面で，あなたなら？～

（ねらい：子育て中の親子への関わりについて意見交換し，適切な支援のあり方について考える。）

その3：かかわってみても…～つくろう，子どもの体験の場～

（ねらい：子どもの豊かな成長を促す体験の場をつくるために，自分には何ができるかを考える。）



イラスト：うじな かずひこ